

数学科の学習

中学生になると「算数」は「数学」へと名前が変わります。勉強の内容は小学校より少しレベルが上がりますがさほど心配することはありません。数学は、自分の頭と手を使って筋道を立てて考える教科です。新しい未知のものを発見した喜びや難しい問題を解いた時の感動はすばらしいものです。

1 なぜ、数学科の学習をするのでしょうか？

数学科では、数・量・図形などについて数学的に考えたり表現したりすることを通して、数学的活動の楽しさを味わい、日常生活への活用の態度を育てることが学習のねらいです。

2 授業で準備するもの

・教科書　・ノート、ワーク　・筆記用具（コンパス・三角定規）

3 授業で大切にしたいポイント

- (1) 今日学習したことはその日のうちに解けるようになるんだ！という気持ちが大切で数学を得意にする一番の近道です。授業に集中しましょう。わからないことは必ず質問しましょう。
- (2) よく考え、自分なりに考えて、その考えを発表しましょう。
- (3) 数学では「なぜそのように解いたのか」という考え方が大切です。途中の式のたて方や計算の仕方などしっかり学びましょう。
- (4) 授業内容をノートにまとめ、できるだけ多くの練習問題を解いて慣れましょう。
- (5) 問題を解いた跡は残しておきます。もし間違っていたら解いた跡は消さず、その脇に再度解き、正解と不正解を見比べながら同じミスをしないようにしておくことが大切です。

4 ノートの使い方

- (1) 大きくていねいな字で書きましょう。
- (2) 色ペンやラインマーカーなどを使って、わかりやすく工夫しましょう。
- (3) 先生が黒板に書かれたこと、先生の話、友達の意見、などを書きましょう。
- (4) 授業で使ったプリントはファイルにとじて、教科ごとにまとめておきましょう。

5 どうすれば、数学の力が更に伸びるのでしょうか？

授業中に解き方がわかってても、解けるようになったとは限りません。数学科では『わかる』と『解ける』は少しちがうのです。解けるようになるためには、同じような考え方をする練習問題をくり返し解くことが必要です。授業ではわかっていたのにな・・・という人は、「継続は力なり」ということを忘れず、クラスの人々と一緒に練習問題をがんばりましょう。

6 家庭学習はどのようにしたらいいのでしょうか？

- (1) 次に学習する教科書の「例題」を予習して、わかるかわからないかに限らず、どんなことを勉強するのかに興味をもちましょう。その方が、学校で先生から習った時に強く印象付けられ、記憶に残りますよ。
- (2) 授業内容をはっきりと思い出し、ワークなどの問題で復習し、考え方・解き方を身に付けるように復習し、自分の理解を確実にしていきましょう。

7 定期テスト前後の勉強はどのようにすればいいのでしょうか？

- (1) テスト前は、教科書の例題、問題集、小テストなどを解き、わからない問題を考えたり、先生や友達に質問したりしましょう。
- (2) テスト中、途中の計算式は、問題用紙の空いているところに書くことができます。そうするとミスを少なくすることができます。時間いっぱい様々な考えをめぐらせてみましょう。
- (3) テスト後は、まだわかっていないことをわかる・できるようにするための良い機会です。間違った問題のやり直しをしましょう。

